

參考資料

【資料】 市民が思うまちの現在の姿

第1節 市民意識調査等（平成30年度（2018年度）調査結果）

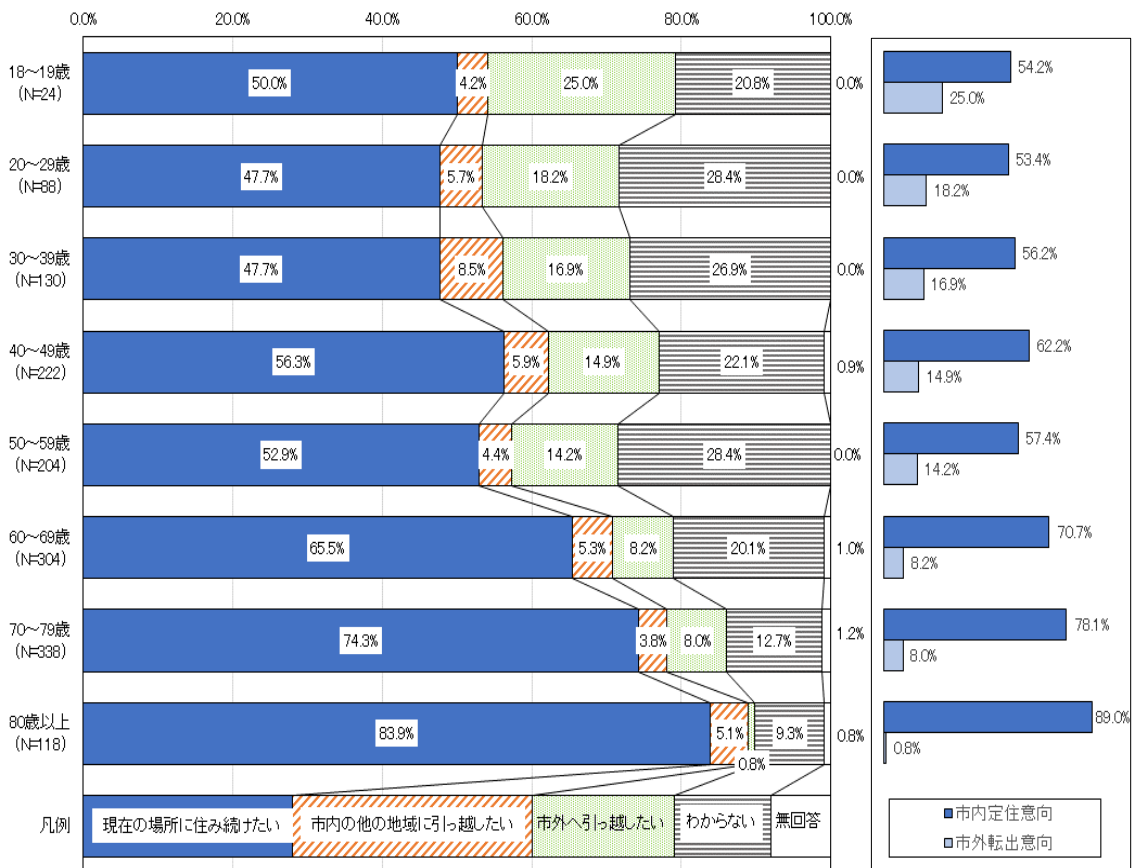
市民意識調査や本市への転入者及び本市からの転出者へのアンケートから見た、市民が思うまちの姿は次のとおりです。

1 市民意識調査の結果

調査期間	平成30年7月30日（月）～平成30年8月13日（月）
調査対象	市内に在住する満18歳以上の市民（平成30年7月1日現在）
標本数	3,500人
回答結果	① 有効配布数 3,493件 ② 有効回収数 1,462件 ③ 有効回収率 41.9%

(1) 定住意識

全ての年代において『市内定住意向』が『市外転出意向』を上回っているものの、『市外転出意向』の割合は、10歳代、20歳代、30歳代で高くなっています。

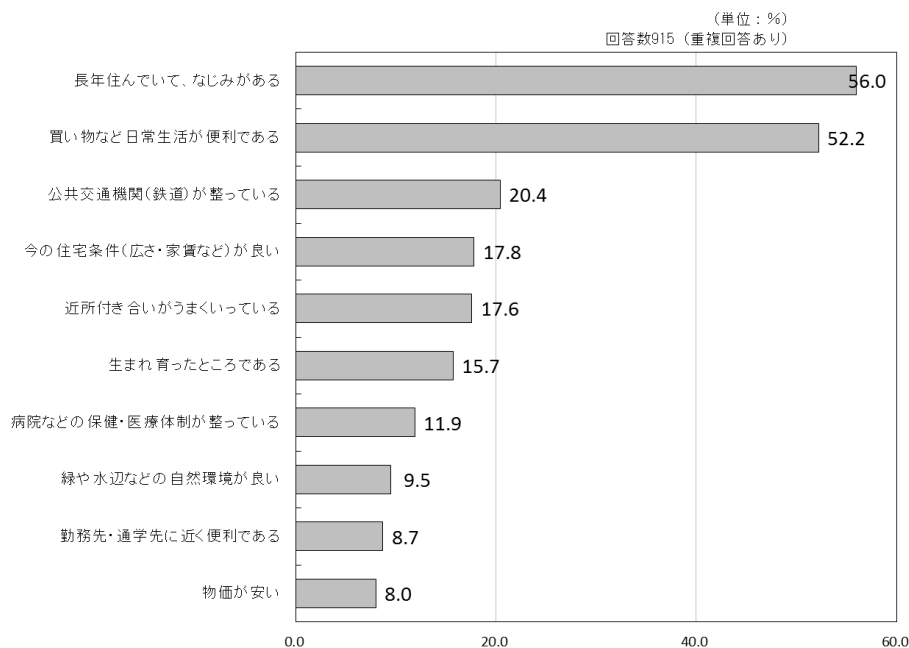


(2) 定住又は転出したい理由

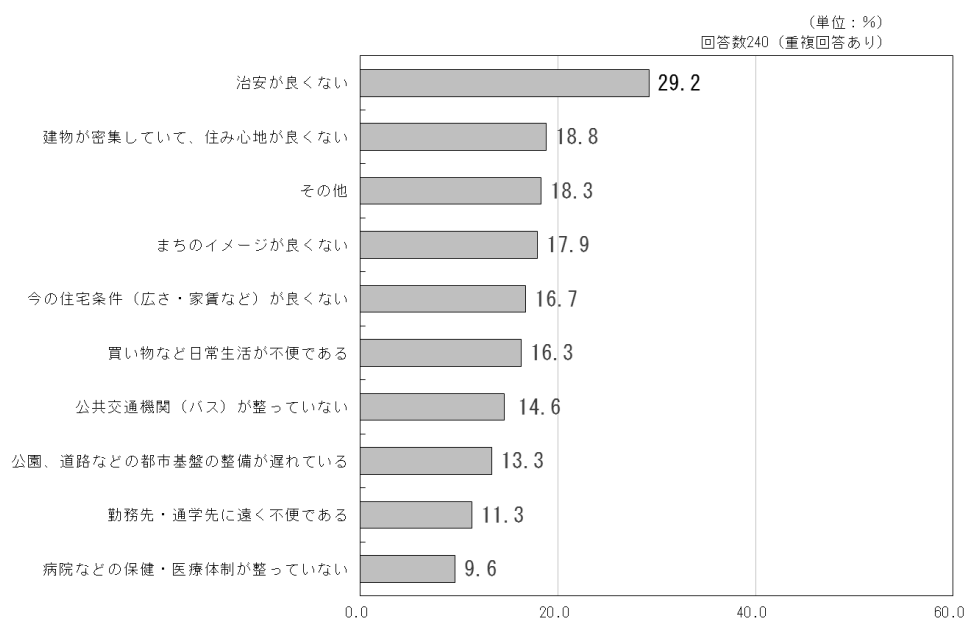
寝屋川市に住み続けたい理由としては、「長年住んでいて、なじみがある」が最も高く、次いで「買い物など日常生活が便利である」、「公共交通機関（鉄道）が整っている」の順となっています。

また、寝屋川市から転出したい理由としては、「治安が良くない」が最も高く、次いで「建物が密集していて、住み心地が良くない」「まちのイメージが良くない」の順となっています。

《寝屋川市に住み続けたい理由（上位 10 項目）》

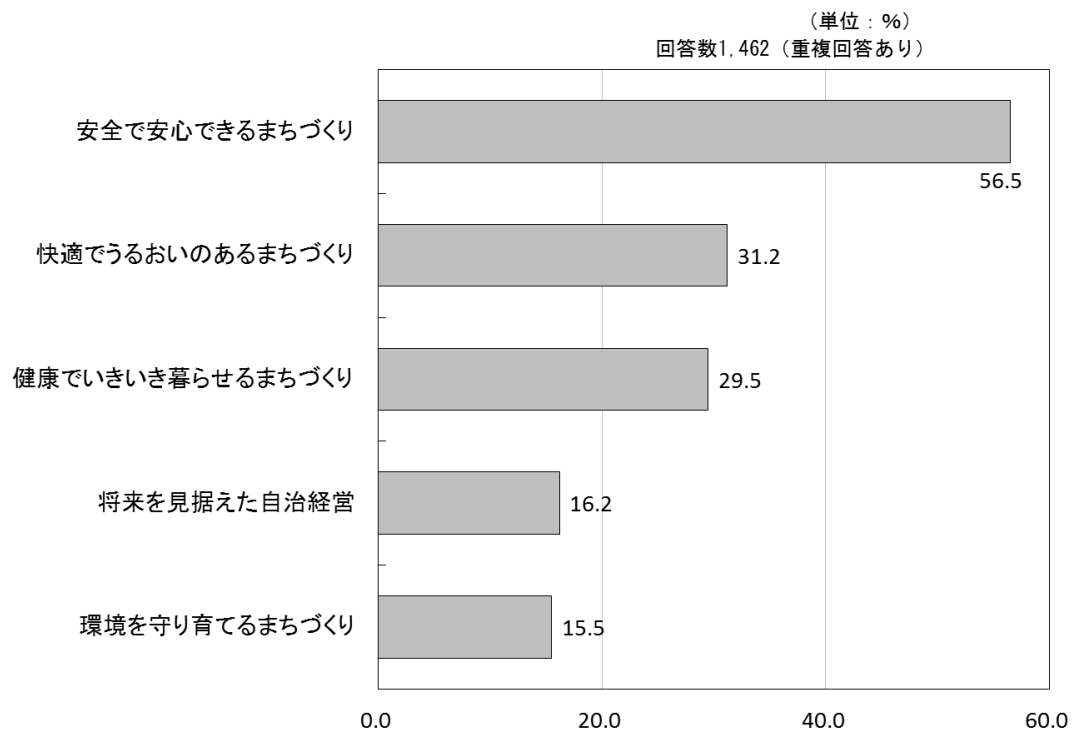


《寝屋川市から転出したい理由（上位 10 項目）》



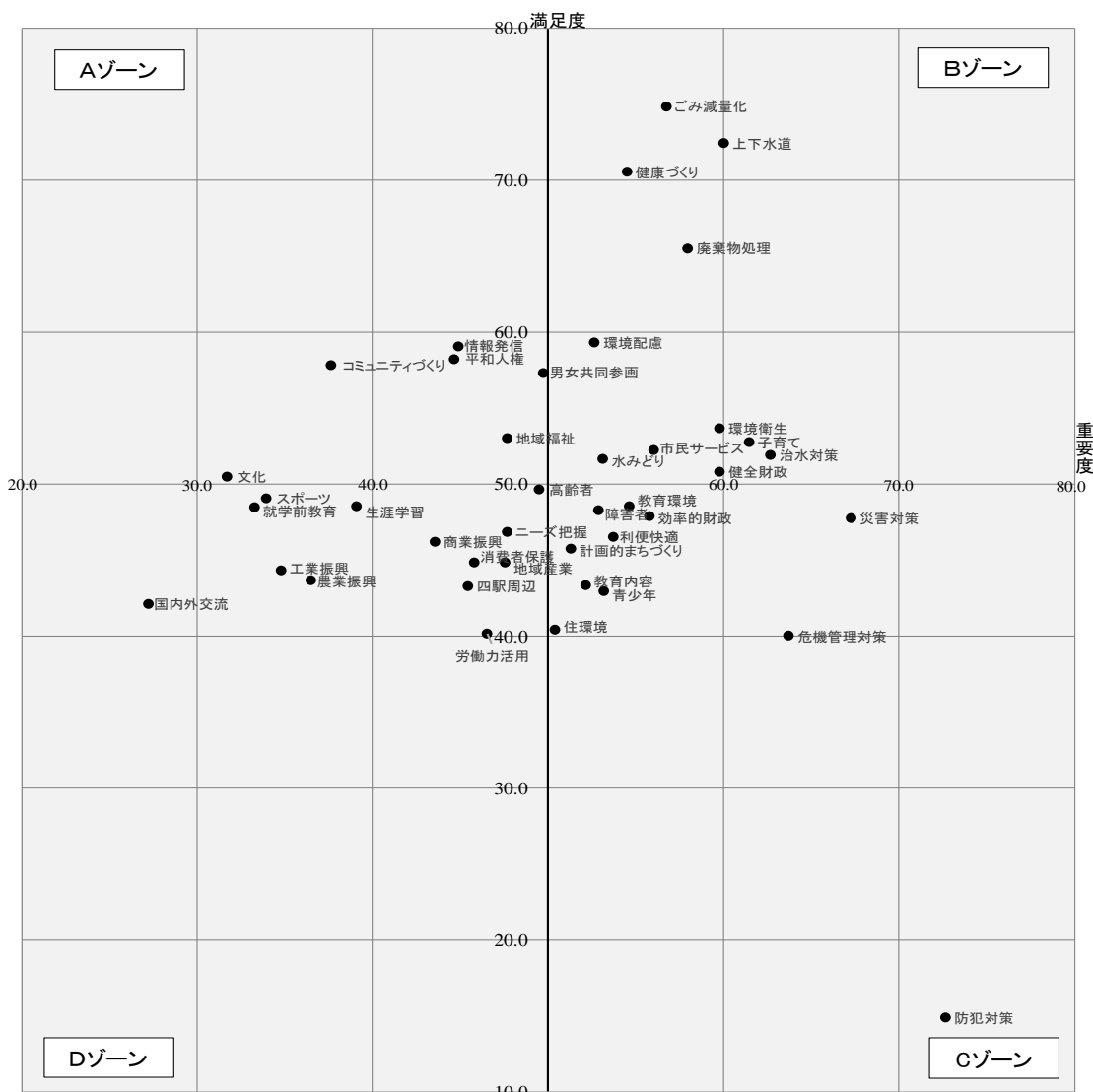
(3) 寝屋川市が力を入れるべき分野（上位5項目）

ずっと住み続けたいと思うまちにするために、今後、力を入れるべき分野としては、「安全で安心なまちづくり」が最も高く、次いで「快適でうるおいのあるまちづくり」、「健康でいきいき暮らせるまちづくり」の順となっています。



(4) 施策の重要度・満足度の相対分析

市民ニーズの高い主な施策（Cゾーンに位置している施策）は、「防犯対策」「危機管理対策」などの安全・安心や、「教育内容」などの教育分野、「住環境」「利便快適」などのまちづくりの分野となっており、今後も充実した施策の推進が必要です。



災害対策	災害に強いまちをつくる取組	住環境	良好な住宅・住環境を創出する取組
治水対策	治水対策を促進する取組	四駅周辺	四駅周辺のまちづくりを推進する取組
危機管理対策	危機管理体制を充実する取組	上下水道	安全で安定した上下水道サービスを提供する取組
防犯対策	犯罪のないまちづくりを推進する取組	利便快適	利便性の高い快適なまちをつくる取組
平和人権	平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる取組	水みどり	水とみどり豊かなまちをつくる取組
男女共同参画	男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる取組	環境配慮	環境に配慮したまちづくりを推進する取組
健康づくり	健康づくりを推進する取組	ごみ減量化	ごみの減量・資源化を推進する取組
地域福祉	地域でともに支えあうしくみを充実する取組	廃棄物処理	廃棄物を適正に処理する取組
高齢者	高齢者の社会参加と自立支援を推進する取組	地域産業	地域産業の活性化を推進する取組
障害者	障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する取組	商業振興	商業の振興を図る取組
子育て	子育てしやすい環境を整備する取組	工業振興	工業の振興を図る取組
環境衛生	安心できる環境衛生を確保する取組	農業振興	農業の振興を図る取組
就学前教育	就学前教育を充実する取組	消費者保護	消費者保護を推進する取組
教育内容	学ぶ力を育成する取組	労働力活用	市域の労働力の活用を推進する取組
教育環境	教育環境の整備・充実を図る取組	コミュニティづくり	コミュニティの活性化と協働を推進する取組
青少年	青少年の健全育成を推進する取組	情報発信	情報発信を充実する取組
生涯学習	生涯学習を充実する取組	ニーズ把握	市民ニーズを把握する取組
文化	文化の振興を図る取組	健全財政	健全な財政運営を行う取組
スポーツ	スポーツ活動を推進する取組	効率的財政	効率的な行政運営を行う取組
国内外交流	国内外の交流を推進する取組	市民サービス	市民サービスを充実する取組
計画的まちづくり	計画的なまちづくりを推進する取組		

2 転出入アンケート調査の結果（仮 平成 30 年（2018 年）10 月調査結果）

調査期間	平成 30 年 10 月 1 日（月）～平成 30 年 10 月 31 日（水）
調査場所	市民課及び各シティ・ステーション窓口
調査方法	調査紙法
回答数	転出 170 件、転入 154 件

(1) 転出入先の自治体に求める取組（上位 5 項目）

転出入先の自治体（転入者については寝屋川市）に求める期待は、交通・買い物の利便性が高く、安全・安心を感じて暮らせるまちであることが分かります。

回答数 980（重複回答あり）

順位	選択肢	人数
1	交通の利便性	160
2	治安のよさ	124
3	買い物の利便性	117
4	家賃・住宅の値段	78
5	街なみ	71

※ 回答人数は、本市から転出された方に加え、本市に転入された方も含む

(2) 寝屋川市で良かったと感じていた取組（上位 7 項目）

本市から転出された方は、本市に対して買い物・交通の利便性や街なみなどの住宅・住環境に関して良かったと感じています。また、「治安のよさ」については、7 番目でした。

回答数 435（重複回答あり）

順位	選択肢	人数
1	買い物の利便性	88
2	交通の利便性	85
3	街なみ	47
4	家賃・住宅の値段	45
5	自然環境	33
6	医療環境の充実	30
7	治安のよさ	24

(3) 転出入先の検討状況

アンケート結果からは、転出に際して、居住地の検討は、自治体ではなく、利用したい“駅”が先行しています。

問6 転出先の検討にあたり、検討したこと
回答数 89 (重複回答あり)

順位	選択肢	選択
①	利用したい駅を決めて検討した→(問7へ)	59
②	住みたい市町村を決めて検討した(下記)	30
	(※30のうち、市名の記載があったもの)	
	枚方市	2
	大阪市	2
	門真市	1
	守口市	1
	東大阪市	1
	河内長野市	1
	吹田市	1
	京都市	1
	愛知県春日井市	1
	合計	11

問7 検討した鉄道沿線は

選択肢	選択
①京阪本線	21
京橋	3
守口市	3
大和田	3
門真市	2
寝屋川市	2
枚方市	2
牧野、御殿山、森小路、丹波橋 墨染、関目、枚方公園、楠葉～萱島	各1
②JR片町線(学研都市線)	3
四条畷、東寝屋川	各1
③京阪交野線	2
交野市	1
④JR環状線	6
大阪駅、京橋、鶴橋	
⑤京阪宇治線	0
⑥その他(阪急、大阪メトロ)	29
合計	61

※複数回答あるため59と一致しない。

第2節 市民とのまちづくりの検討

地域協働協議会等からの地域課題の聞き取り、市民ワークショップ、若者会議を通して把握した、市民が思うまちの姿は次のとおりです。

1 地域協働協議会等

全24小学校区の地域協働協議会等を通して、地域が抱える課題やニーズ等についての把握を行いました。

活動の担い手育成や福祉、安全安心など、地域の活動で感じている課題などが確認されました。

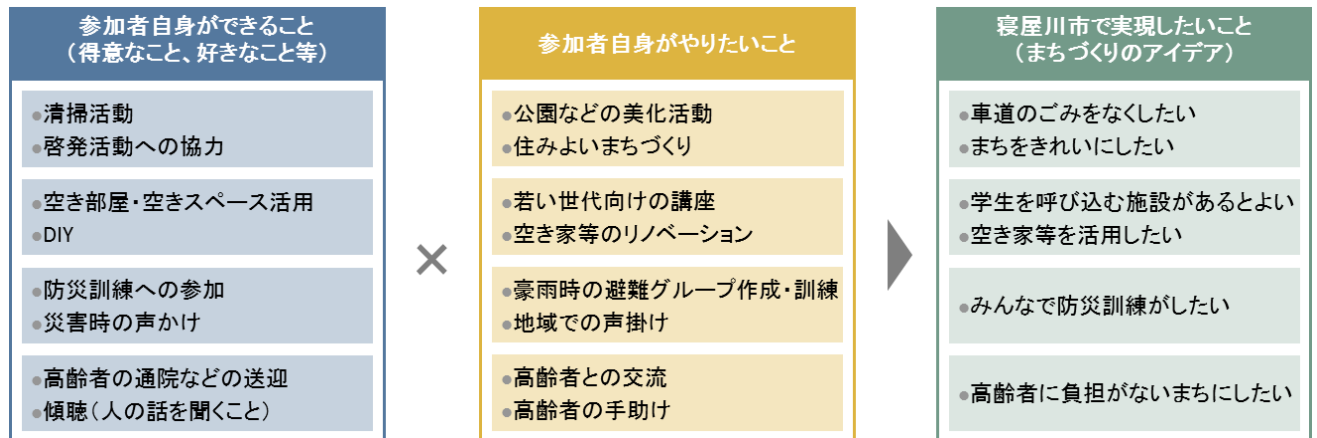
課題	意見
地域活動の担い手の発掘と育成	<ul style="list-style-type: none"> 活動の担い手が高齢化しており、人手が不足している。 幅広い年代の住民による活動・交流が理想であり、若い世代にも参加してほしい。等
過重となる役員活動	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動団体の役員は兼務であることが多く、特定メンバーによる過重な奉仕により活動が支えられている。 地域活動団体の活動内容が似通っているものもあり、統合して、より多くの住民が関わる活動に広げる方がよい。等
高齢者等への見守り支援	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者、認知症、老老介護の方が増加していくため、今後、見守り支援は更に重要となる。 災害時に、避難のサポートができるか不安である。等
安全安心の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域版ハザードマップを作成したい。 避難訓練に加え、避難所設営訓練も必要である。等

2 市民ワークショップ

市民ワークショップでは、「参加者自身ができること（得意なこと、好きなこと等）」と「参加者自身がやりたいこと」を出発点にして、「寝屋川市でこんなことを実現したい」というアイデアを出し合っていました。

参加者のアイデアには、行政が主体となって取り組むことだけではなく、市民と行政が協働できること、美化活動や地域での声かけ、防災訓練、特技を教えることなどの市民自らが地域で実現できることも多くあることが確認・共有されました。

参加者自身ができること・やりたいことから考えたまちづくりの主なアイデア



3 若者会議

中学生から 30 歳未満の人までを対象とした若者会議において、“SIM ねやがわ 2030（対話型自治体経営シミュレーションゲーム）”を通じて、行財政運営について疑似体験した上で、将来のまちづくりについて考えました。

若者が求める将来のまちづくりについては、「子育て」「安全・安心」等のキーワードが見られました。

10 年後の寝屋川市がどうなっていたら良いかについての主な意見

主なキーワード	
子育てがしやすいまち	コンパクトシティ
緑が多いまち	高齢者にやさしいまち
イベントや祭りが多く活気のあるまち	安全・安心なまち
災害に強いまち	結婚後の人生が過ごしやすいまち
健康な市民が多いまち	災害時に支えあえるまち
笑顔があふれて明るいまち	元気な企業が多い、働きやすいまち